

2024年度活動報告書 (2024年4月～2025年3月末)



一般財団法人

カンボジア地雷撤去キャンペーン

Cambodia Mines-remove Campaign

地雷原での教育支援

プレイトップ小学校 学校施設建設（カンポット州チューク郡ボン村） 2024年6月～11月

【ボン村と地雷の関係】



2023年2月14日

学校敷地には内戦時にポルポト軍の弾薬貯蔵庫が置かれ、その周辺には地雷が埋められ近づけないようになっていた。

この地域では、1970年代に内戦による戦闘が激化しました。その当時、学校の敷地には軍のキャンプがあり、多くの武器が保管されていました。そのため、重要な拠点として周囲に地雷原を埋めていました。地雷原の位置は村の住民が把握していましたが、ときどき不注意により人や牛が被害に遭うことがありました。

その後、元軍人と村の住民たちによって地雷の処理が行われました。村から地雷はすべて撤去され安全になりましたが、現在では人口が増え教室や様々な施設が不足しており、CMCに建設依頼が来ていました。



2024年8月



2024年9月

【シン・ブンレーン内務長官邸宅訪問】



落成式当日は、朝5時半出発、シンブンレーン内務長官の公邸にお寄りしました。長官ご夫妻は、暖かくお迎え頂き、災害担当として、緊急物資を備蓄していると倉庫を見せてくださいました。その後、パトカー先導でノンストップで落成式の会場に向かいしました。

地雷原での教育支援

プレイトップ小学校 学校施設落成式（カンポット州チューク郡ボン村） 2024年11月19日

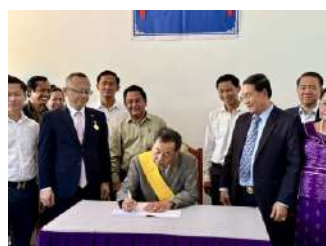
【学校施設落成式】



式典では、オープニングのテープカットに続き、署名が行われましたが、記念すべきテープカットは、ツアー参加者全員が出来て良かったです。
また、28年間のCMC活動に対し、大谷賢二理事長に「ロイヤル・モニサラポン勲章」が授与されました。
また、今回の建設に対し曾和英徳 次期理事長と吉岡元太さん、水嶋章陽さんに功労メダルが贈られました。
記念撮影では、子ども達も一緒に収まり無事に落成式を終えることが出来ました。
今回の施設建設にお力添え頂いた企業・個人の皆さまに心より御礼申し上げます。



シン・ブンレーン内務長官ご夫妻（奥様は、フンセン前首相の妹で、現フン・マネット首相の養母）のご臨席のもと「プレイトップ小学校」の学校施設落成式が挙行されました。子ども達、関係者の熱烈な歓迎の中、CMCの旗を先頭に入場しました。僧侶による読経、両国国家の演奏に続き、私と曾和さんが祝辞を述べた後、シン・ブンレーン内務長官による、CMCへの感謝と子ども達への励ましの言葉が贈られました。



地雷原での教育支援

日本語教室トライアル企画

日本語教室トライアル実施に向けて



2008年9月に開校したコーン
トライ中学校では、開校以来、
建設時の佐世保青年会議所理事
長だった曾和英徳次期理事長が
卒業式はじめ熱心にサポートさ
れて来ました。学校側からの強
い要望もあり、日本語講座企画
を検討する事となりました。
地球一周の船内で、大谷理事長
の講演を聴いた有志メンバーの
皆様の積極的な提案・活動もあり
トライアルの実施を実現する
事ができました。



オンラインで現地の先生
方達、有志メンバーの皆
様と、事前打ち合わせを
何度も入念に行いました。



2025年1月4日
シェムリアップ空港到着

日本語教室トライアル完了報告会



3月9・10日、東京・愛
知・大阪から福岡に集
まって頂き、報告及び反
省会を実施しました。



地雷原での教育支援

日本語教室トライアル実施

CMCコーントライ夢中学校（バンティミンチャイ州）

2025年1月6日～1月31日



寺村 智恵子さん



平坂名の筆記練習をする子ども達



菊池 景子さん



藤内 和恵さん



曽根 厚宏さん



日本語でのジャンケン対決！

地球一周の船内で、大谷理事長の講演を聞いた日本語教師の寺村智恵子さんをはじめとした3人が、自費でカンボジアに向かい、日本語教室トライアルを一月間実施しました。

短期間ではありましたが参加した生徒は日本語ネイティブに対して、しっかり聞き取れるレベルで自己紹介ができるようになりました。これから更に上達というところでトライアル期限は終了しましたが、ボランティアで現地活動をされた皆様は、この成果と感動を一人でも多くの人に伝え、今後に活かすために形を変えてでも協力したいとのことです。

CMCでは本格実施が実現できるよう様々な課題の洗い出しや調整を現在行っているところです。

地雷原での教育支援

CMCポップイ三好小学校（バタンバン州）

2018年11月5日落成 児童数 121名



2024年11月21日訪問

スタディツアー参加者と共に子ども達と交流しました。2004年に建設した「CMCポップイ安倍小学校」の老朽化と破損により2017年11月に新築開校した学校。三好不動産（三好修 社長）、ニッポンインシュア株式会社（坂本真也 社長）のご支援によりCMCが建設・運営サポートを続けています。今回のスタディツアーにも三好不動産から取締役の笠清太さんと椋野翔太郎さん、ニッポンインシュアから渋谷純一さんが参加され、子ども達の熱烈な歓迎を受けました。



CMCセクソク林田小学校（バタンバン州）

2019年6月24日落成 児童数 111名



2024年11月22日訪問

CMCの旗を先頭に入場し、子ども達のキラキラした歓迎を受けました。まず、ご挨拶で曾和さんに理事長を引き継ぐことを報告し、交流の時間に入りました。カンボジアは2部制なので、私たちが訪れた午前中は、低学年。1年生から3年生の国語（カンボジア語）と算数の授業を参観しました。授業参観に続き、シャボン玉や飛行機を組み立て遊びました。セクソク村は、かつてコムリット君（当時11歳）が、木の実を採っていて地雷被害に遭った地域です。被害に遭った後で親に捨てられ、10代で亡くなったコムリット君の様な悲劇を繰り返さない為にも、子ども達には、今後もしっかりと学んで欲しいと思います。



地雷原での教育支援

CMCコーントライ夢中学校（バンティミンチャイ州）

2008年9月26日落成 生徒数 172名



【日本語教室実施に向けての打ち合わせ】

チャム・リム校長やキム・スオト先生始め、先生方と、曽和さんと私で日本語教室について話し合いました。1月に試験的に日本語教師の寺村智恵子さんにコーントライで指導頂くことになっており、その為の宿泊場所や送迎、日常生活、緊急時などの対応を確認する必要がありました。



CMCトゥールポンロー中学校（バンティミンチャイ州）

2010年12月2日落成 生徒数 223名



2024年11月24日訪問

炊き出し交流を行いました。コーントライ中学校では、毎年秋に卒業旅行が実施されて来ましたが、今後、「日本語学級」の新設などの計画がある為、そちらに予算を振り分ける事になりました。理事長交代を含む挨拶の後、卒業生全員に記念品と祝金が1人ひとりに手渡されました。現在では進学を断念した人以外は全員が高校に進学するという状況の激変に感銘を受けました。しかし、途中退学をする子が多いという問題が依然として存在します。

炊き出しでは、子ども達も日頃は一緒に食事する機会は無かったので大喜び、笑顔に溢れていました。



今年度は日程の都合で訪問・交流は叶いませんでした。学校では引き続きSDGsの取組がさなれており、運動場やサッカーコートの芝生の手入れが丁寧にされています。生徒の環境配慮に対する意識もさらに向上している事と思います。



地雷撤去支援

【CSHD地雷原（シェムリアップ州バンティスレイ郡）】



CSHDヘドネーション 2024年11月23日



シェムリアップ州バンティスレイ郡タエク村の地雷原での地雷撤去視察を行いました。

ここはCSHDという地雷撤去団体が担当しており、カンボジアの地雷問題に関する指導監督をしているCMAAの割り振りで、活動しています。

殆どの参加者が初めての体験なので、プロテクターやヘルメットを装着する段階での緊張感を感じました。このエリアは、94,566㎡の広さがあり、これまでに、対人地雷6個と不発弾14個が発見され処理されています。今回は、特に、探知機の使い方を隊員から学んでから、地雷原に入りました。



【カンボジア地雷博物館】



アキラ館長ヘドネーション
2024年11月24日



アキラ館長によるレクチャー

【オタワ条約に関する国際会議 会場訪問】



対人地雷全面禁止条約（オタワプロセス）に関する国際会議が開催される会場を訪問しました。各国政府関係者が集まり、フン・マネット首相も出席なので、厳重な警戒体制を敷いているようでした。条約が有効に機能して、地雷被害の無い世界になる事を心より願っています。

カンボジアスタディツアー

2024年11月18日～26日



在カンボジア日本大使館に植木大使を表敬訪問



ブレイトップ小学校施設の落成式典参加



CMCポップイ三好小学校訪問・交流



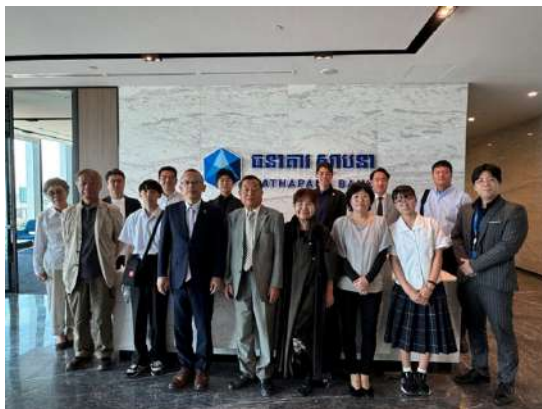
シン・ブンレーン内務長官宅表敬訪問



CMCコートライ夢中学校学校炊き出し交流



シェムリアップ州CSHD地雷撤去視察



サタバナ銀行にて経済状況の説明を受ける



CMCセクソク林田小学校訪問・交流

今回開催のスタディツアーは14名の方々に参加頂きました。
プノンペン～カンポット州～バタンバン州～バンティミンチャイ州～シェムリアップ州のCMC活動地域を訪問しましたが、全ての行程・目的を無事完遂する事が出来ました。

国内活動

支援企業・団体様に活動報告と支援継続依頼のためご訪問



新日本製薬株式会社 後藤孝洋社長



学校法人 国際志学園 水嶋章陽理事長



R.E.D建築設計事務所 赤樫幸治社長



善隣教 カ久道臣教主



トクスイコーポレーション 徳島建征社長



株式会社レイメイ藤井 藤井章生社長



株式会社三好不動産 三好修社長



サニクリーン九州 田川総務部長



太洋グループ 岡部知覧社長

国内活動

理事長交代に向けて支援企業訪問、説明

敬称略



ニッポンインシュア株式会社



株式会社データ・マックス



株式会社西日本新聞社



マザーホーム株式会社



株式会社カシマ製作所



株式会社サニクリーン九州



アストル税理士法人



株式会社ホンダカーズ博多



株式会社R.E.D建築設計事務所



株式会社 博運社



株式会社 OVER D-LIVE



新日本製薬株式会社



有限会社イイツカベンディング



株式会社 如水庵



スタディツアー打合せ



行政書士との打合せ

国内活動

募金・支援金のご協力を頂き有難うございます



能古島アイランドパーク



歴史研究家 原坂泰輔さんご遺族



アトリエエノ坊



アトミック 美容室



島崎不動産



九州国際付属高校



イオン野芥店



American Chatter Box



春日ボランティアセンター

書き損じはがき回収の協力を頂き有難うございます



北九州市立ひびきの小学校



トヨタカローラ西新店

ボランティア・インターンの皆様方



今年度も全国の小中学校の児童・生徒様より心温まるお手紙を多数頂きました。

全国から寄せられた未使用ハガキ・未使用切手・テレカ等はボランティア、インターンの皆様の手作業で集計・整理されて現金化し現地活動に役立てられています。今年度も書き損じハガキの集計、切手の整理、資料の英訳作業等多岐に渡ってご協力頂いています。

講演活動、国際理解授業

2024年度 講演一覧

2024年	5月 21日	博多ロータリークラブ	理事長	大谷賢二
	6月 27日	福岡市立舞鶴中学校	理事長	大谷賢二
	7月 2日	中村学園大学「グローバル人材特別講義」	理事長	大谷賢二
	7月 22日	九州大学フレックス会	理事長	大谷賢二
	9月 26日	コーポレートコネクションズ	理事長	大谷賢二
	9月 29日	古賀市社会同和教育推進協議会	理事長	大谷賢二
	10月 9日	小倉ロータリークラブ	理事	曾和英徳
	11月 2日	福岡県立修猷館高校	理事長	大谷賢二
	11月 9日	福岡市立宮竹中学校	理事長	大谷賢二
	12月 4日	福岡市立西新小学校	理事長	大谷賢二
	12月 6日	佐世保南ロータリークラブ	理事	曾和英徳
	12月 10日	佐世保市立山澄中学校	理事	曾和英徳
	12月 15日	福岡市立百道公民館	理事長	大谷賢二
2025年	1月 28日	ニュートン高等専修学校	愛知事務局	山田勝己
	2月 17日	八女市立三河小学校	理事長	大谷賢二
	3月 23日	ピースボート同航会	理事長	大谷賢二



八女市立三河小学校



中村学園大学グローバル人材講義



古賀市社同協主催講演会

CMCでは小学校から大学、行政・諸団体等へ、平和・人権・国際協力などに関する講演や授業の講師派遣も行っています。日本ではニュースにならない地雷被害の現状や、地雷模型を使った説明を取り入れた授業を展開します。

世界にも目を向ける地球人としての視点を



福岡市立西新小学校



福岡市立宮竹中学校



佐世保南ロータリークラブ



福岡市立舞鶴中学校

国内活動

音楽を通した支援活動

Wind-Winds Concert 2025年3月23日 千葉県木更津市



2008年に大谷理事長が「アジア人権賞」を日本人として初めて受賞した際に、楽曲を提供したいという申し出があって以来、長年に亘りCMCを音楽の面から支援活動を続けられていた鈴記由紀子（サラフリーダム ユキコ）様が昨年12月27日にお亡くなりになりました。2021年8月には楽曲「光紡ぐもの・夢の足あと」（大谷賢二STAND）のスコアを福岡まで手渡しに來られ、2023年3月19日には千葉県の「かずさアカデミアホール」にて初演のお披露目を頂きました。その際も、募金や「書き損じはがき」回収を実施して頂きました。最初の出会いの時から体調は宜しくなかったのですが、その後も今年3月のコンサートに向け頑張るというメッセージを亡くなる8日前まで頂いておりました。パートナーである鈴木博之様は、悲しみの中、奥様の御遺志を継承され、3月23日に志学館高等部吹奏楽部音楽イベントを実施されました。会場では、「書き損じはがき」回収の呼びかけを頂き、イベント当日には沢山のハガキ・切手が寄せられました。吹奏楽部員から東京外国語大学クメール語専攻に入学される方もいらっしゃるのと事で大変嬉しく思います。鈴木由紀子さまのご冥福をお祈りするとともに、心より感謝申し上げます。



鈴木博之・故 鈴木由紀子ご夫妻と



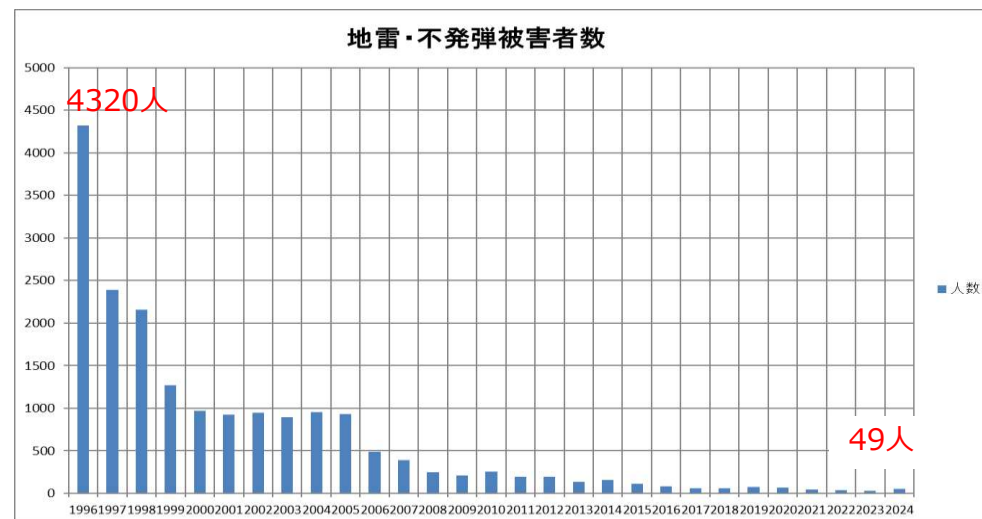
コンサート会場での募金活動

カンボジア地雷撤去状況 地雷・不発弾被害の現状

カンボジア地雷対策庁（CMAA）による地雷・不発弾被害報告では、2024年は被害者数49名（死者10名）と報告されています。1979年から2024年までの累計で、死者は1万98名、負傷4万5254名となっています。2023年との被害者数比較では増加しましたが1996年には、死者911名、負傷者3409名（うち手足切断443名）に達していました。多くの関係者の尽力により29年間で被害者数は1996年比較で約1/100まで減少しております。

カンボジア国内の地雷被害状況ですが、バタンバン州、バンティミンチャイ州、オダーミンチャイ州で主に被害が発生しています。地雷ゼロ宣言の州は昨年から引き続き増加傾向ではあるのですが、カンボジア政府は2025年で地雷撤去完了の目標期限は2030年に下方修正されている状況です。

CMCは引き続き地雷・不発弾対策及び被害者への支援に取り組んで参ります。



書き損じハガキ回収プログラム

2024年度 書き損じハガキ回収キャンペーン ご報告

2024年4月1日～2025年3月31日

【回収結果（2025/4/1時点）】

ご支援者 学校/団体様：103 個人様：1249

ハガキ

2,793,305円

学校・団体 15,346枚
個人 40,831枚

切手

1,618,868円分

学校・団体 61,704円分
個人 1,557,164円分

テレカ（+その他カード等）

405,560円

学校・団体 65枚
個人 1,042枚

2024年度 総額 **4,817,733円相当**

※実際の換金額とは異なります。

ご支援頂いた皆様誠にありがとうございました。



日本国内の北海道から沖縄までの行政（47都道府県 369の地方自治体教育委員会から後援）マスコミ、市民や学校の皆様のご協力により、書き損じハガキや切手、テレホンカード等がCMC事務局に寄せられました。

ボランティアやインターンの皆様のご協力により事務局にて整理・集計が行われています。

今年度も学校、企業団体、個人の皆様からたくさんの支援が寄せられました。



百道公民館



一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン
本部 福岡市早良区西新1-7-10-702
電話 092-833-7575

決 算 報 告 書

(第 14 期)

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン

福岡市早良区西新1丁目
7番10-702号

貸借対照表

令和 7年 3月31日 現在

一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	2,873,855	【流動負債】	759,570
現金及び預金	2,753,855	未払金	632,940
未収入金	120,000	未払法人税等	71,000
		預り金	55,630
		負債の部合計	759,570
		正 味 財 産 の 部	
		【正味財産】	2,114,285
		剰余金	2,114,285
		その他剰余金	2,114,285
		繰越剰余金	2,114,285
		正味財産の部合計	2,114,285
資産の部合計	2,873,855	負債及び正味財産合計	2,873,855

事業会計収支計算書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

科 目	金 額	
【収入】		
寄 付 金 収 入	13,363,266	
事 業 収 入	3,058,000	
売 上 高 合 計		16,421,266
売 上 総 利 益 金 額		16,421,266
【事業費及び管理費】		
事 業 費 及 び 管 理 費 合 計		16,062,267
営 業 利 益 金 額		358,999
【その他収入】		
受 取 利 息	1,471	
雑 収 入	120,000	
営 業 外 収 益 合 計		121,471
経 常 利 益 金 額		480,470
税引前当期純利益金額		480,470
法人税、住民税及び事業税		71,000
当 期 純 利 益 金 額		409,470

事業費及び管理費内訳書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位: 円)

科 目				金 額	
給	料	手	当	5,296,000	
雑			給	198,560	
法	定	福	利 費	222,848	
広	告	宣	伝 費	923,120	
接	待	交	際 費	95,578	
会		議	費	34,367	
旅	費	交	通 費	1,061,446	
通		信	費	229,321	
消	耗	品	費	8,709	
水	道	光	熱 費	120,826	
新	聞	図	書 費	4,521	
諸		会	費	5,000	
支	払	手	数 料	66,900	
車		両	費	83,569	
地	代	家	賃	999,000	
リ	一	ス	料	1,082,280	
租	税	公	課	1,300	
支	払	報	酬 料	308,000	
寄		付	金	154,210	
現	地	活	動 費	5,165,547	
雑			費	1,165	
事業費及び管理費合計					16,062,267

株主資本等変動計算書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位: 円)

【正味財産】

資 本 金	当期首残高	0
	当期末残高	0
剰 余 金		
そ の 他 剰 余 金		
繰 越 剰 余 金	当期首残高	1,704,815
	当期変動額 当期純利益金額	409,470
	当期末残高	2,114,285
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高	1,704,815
	当期変動額	409,470
	当期末残高	2,114,285
株 主 資 本 合 計	当期首残高	1,704,815
	当期変動額	409,470
	当期末残高	2,114,285
正 味 財 産 の 部 合 計	当期首残高	1,704,815
	当期変動額	409,470
	当期末残高	2,114,285